

生涯学習概論		後期 1 単位	2年
生涯学習とは何かを学ぶ		石原 眞理 (いしはら まり)	
ねらい	高齢化や情報技術の発展など社会の変化にともない、生涯学習の内容も変化しています。このような時代における生涯学習とは何か、また図書館は生涯学習の中でどのように位置づけられているのかを学びます。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス 第2回 生涯学習の意義と理念 第3回 女性と生涯学習 第4回 図書館と生涯学習(1) 第5回 図書館と生涯学習(2) 第6回 我が国の生涯学習の展開(1) 第7回 我が国の生涯学習の展開(2) 第8回 公民館の役割 第9回 博物館の役割 第10回 高齢化と生涯学習(1) 第11回 高齢化と生涯学習(2) 第12回 情報技術の進展と生涯学習(1) 第13回 情報技術の進展と生涯学習(2) 第14回 学校・大学の開放と生涯学習(1) 第15回 学校・大学の開放と生涯学習(2)		
進め方	講義を中心に行います。		
テキスト	特に定めず、プリントを授業時に配布します。	参考文献	必要に応じて紹介します。
評価方法	出席:30% レポート:70%		

図書館経営論		後期 1 単位	2年
図書館経営について学ぶ		石原 眞理 (いしはら まり)	
ねらい	図書館が直面している課題に、管理・運営面から取り組むことにより、図書館への理解を深めます。		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス 第2回 図書館経営の意義 第3回 自治体行政と図書館 第4回 図書館の組織と職員 第5回 図書館業務の理論と実際 第6回 図書館評価の基礎 第7回 図書館評価(業務統計) 第8回 図書館評価の演習(1) 第9回 図書館評価の演習(2) 第10回 図書館の計画(1) 第11回 図書館の計画(2) 第12回 図書館ネットワークの形成(1) 第13回 図書館ネットワークの形成(2) 第14回 図書館の広報とマーケティング 第15回 まとめ		
進め方	講義を中心に行います。		
テキスト	特に定めず、プリントを授業時に配布します。	参考文献	必要に応じて紹介します。
評価方法	出席:30% レポート:70%		

図書館概論		前期集中 2 単位	1年
図書館を理解する			
ねらい	図書館は数千年の歴史を持ち、“知”と密接に関連しています。その機能はさまざまです。この科目では、図書館という存在と意義の理解を目的としています。なお、本科目は司書資格取得のために必要な科目であり、司書として必要な最低限の知識・技能が獲得できていない場合には不合格とするので注意してください		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 現代の社会における図書館の定義・意義 第3回 図書館を支える理念 第4回 社会的制度としての図書館 第5回 地域と図書館 第6回 さまざまな図書館：公立（公共）図書館 第7回 さまざまな図書館：学校図書館 第8回 さまざまな図書館：大学図書館 第9回 さまざまな図書館：専門図書館 第10回 さまざまな図書館：国立図書館 第11回 海外の図書館 第12回 図書館の歴史：公立図書館の成立 第13回 図書館の歴史：日本の図書館 第14回 図書館関係団体 第15回 テスト		
進め方	講義形式で進めていきます。司書課程の基礎科目という位置づけにあたりますので、基礎概念等をしっかり理解してもらいます。		
テキスト	塩見昇. 図書館概論（JLA図書館情報学テキストシリーズ11 1）日本図書館協会	参考文献	必要に応じて紹介します
評価方法	出席:15% テスト（持込不可）:85%		

図書館サービス論		前期 2 単位	1年
図書館の活動を知る		橋詰 秋子（はしづめ あきこ）	
ねらい	現在図書館で行われているサービスを解説し、現代の図書館サービスが多岐にわたり、かつ専門的であることを学ぶ。なお、本科目は司書資格取得のために必要な科目であり、講義を通じて司書として必要な最低限の知識・技能を習得するために、定期試験と併せて、講義時間中にミニテスト等も行う。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 図書館サービスの意義・理念(1) 第3回 図書館サービスの意義・理念(2) 第4回 図書館サービスとマネージメント 第5回 来館者へのサービス 第6回 利用空間の整備 第7回 貸出サービスの構造 第8回 資料提供の展開 第9回 図書館サービスと著作権 第10回 情報提供 第11回 利用対象に応じたサービス(1) 第12回 利用対象に応じたサービス(2) 第13回 多様な利用者サービス 第14回 利用者との交流 第15回 試験		
進め方	授業時に配布するプリントとテキストに沿って講義を行う。		
テキスト	図書館サービス論（小田光宏 日本図書館協会）	参考文献	授業の中で必要に応じて紹介する。
評価方法	平常点:50% 試験:50%		

情報サービス概説		後期 2 単位	1年
図書館による情報サービスを理解する			
ねらい	図書館サービスのうち、情報サービスと呼ばれるモノについては、特にこの科目で学ぶこととなります。利用者に情報をどう提供するかの基盤を理解していただきます。なお、本科目は司書資格取得のために必要な科目であり、司書として必要な最低限の知識・技能が獲得できていない場合には不合格とするので注意してください		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス 第2回 情報サービスとは何か 第3回 情報サービスの種類（1） 第4回 情報サービスの種類（2） 第5回 情報源の種類と評価（1） 第6回 情報源の種類と評価（2）、情報ニーズ（1） 第7回 情報ニーズ（2）、情報ニーズへの対応（1） 第8回 情報ニーズへの対応（2） 第9回 情報の検索と回答（1） 第10回 情報の検索と回答（2） 第11回 情報サービスの管理 第12回 事実検索の情報源（1） 第13回 事実検索の情報源（2） 第14回 文献検索の情報源（1） 第15回 電子メディアの活用		
進め方	講義を中心に行います。なお、第1回のガイダンスには必ず出席し、その時の指示に従ってください。		
テキスト	授業開始時に指示します。	参考文献	必要に応じて紹介します。
評価方法	出席:15% テスト（持込不可）:85%		

レファレンスサービス演習		後期 1 単位	1年
情報提供のノウハウ		鴫田 拓哉（ときた たくや）	
ねらい	図書館に寄せられてくる多様な利用者の質問の意図を把握し、的確な情報提供が可能となる技能の修得を目指します。なお、本科目は司書資格取得のために必要な科目であり、司書として必要な最低限の知識・技能が獲得できていない場合には不合格とするので注意してください		
授業計画	【後期】 第1回 ガイダンス 第2回 OPACの探索について（課題提示） 第3回 レポートの書き方について 第4回 辞書・辞典・便覧の探索について（課題提示） 第5回 OPACの探索について（講評） 第6回 辞書・辞典・便覧の探索について（講評） 第7回 人名・会社録の探索について（課題提示） 第8回 図書館のトピック（講義） 第9回 人名・会社録の探索について（講評） 第10回 書誌・索引類の探索について（課題提示） 第11回 インターネット上の資源について（課題提示） 第12回 図書館のトピック（講義） 第13回 書誌・索引類の探索について（講評） 第14回 図書館のトピック（講義） 第15回 インターネット上の資源について（講評）		
進め方	それぞれの内容ごとに講義（課題提示）－演習－レポート提出－回答発表/講評という形で進めていきます。なお、第1回のガイダンスに必ず出席し、指示に従ってください。		
テキスト	授業開始時に指示します。	参考文献	授業時に必要に応じて紹介する
評価方法	出席:5% レポート:90% 授業時の発表:5%		

情報検索演習	後期 1 単位	2年
データベースの仕組み	加藤 久枝 (かとう ひさえ) 宮田 雅智 (みやた まさのり)	
<p>【ねらい】 コンピュータを利用した情報検索システムの仕組みを利用・提供の両面から学んでいただきます。なお、本科目は司書資格取得のために必要な科目であり、司書として必要な最低限の知識・技能が獲得できていない場合には不合格とするので注意してください。</p> <p>【授業計画】 第1回 ガイダンス 第2回 情報のデジタル化 第3回 情報検索の定義と論理演算 第4回 検索式の作成 第5回 データベースの作成(1) 第6回 データベースの作成(2) 第7回 データベースの作成(3) 第8回 データベースの作成(4) 第9回 データベースの操作 第10回 ND-OPAC(1) 第11回 ND-OPAC(2) 第12回 ND-OPAC(3) 第13回 ND-OPAC(4) 第14回 いろいろな検索機能 第15回 まとめ</p> <p>【進め方】 情報のデジタル化、データベース化などいくつかの必要な基本的知識について解説した後、コンピュータを使用した実習を行う。実習では、各自の書籍データベースを作成し、検索の実際を体験した後、オンライン・データベース(雑誌記事・論文、図書を対象)を利用して演習を行う</p> <p>【テキスト】 【参考文献】 なし。必要に応じて資料を配布する</p> <p>【評価方法】 レポート30%、課題提出物30%、出席・授業時態度40%</p>		

図書館資料論	後期 2 単位	1年
資料を知る	宮原 志津子 (みやはら しづこ)	
ねらい	商人にとって商品に関する知識が必要であるように、図書館に携わる人にとって資料に対する理解は必要不可欠です。この授業では、資料のあり方、その扱い方について学んでいきます。なお、本科目は司書資格取得のために必要な科目であり、司書として必要な最低限の知識・技能が獲得できていない場合には不合格とするので注意してください	
授業計画	<p>【後期】 第1回 ガイダンス 第2回 資料とは何かー図書館資料について 第3回 紙について、本について(1) 第4回 本について(2)、印刷資料(1) 第5回 印刷資料(2)、印刷資料以外の資料(1) 第6回 印刷資料以外の資料(2) 第7回 特別な位置づけの資料 第8回 出版流通について 第9回 蔵書とは何か(1) 第10回 蔵書とは何か(2) 第11回 資料の収集と選択(1) 第12回 資料の収集と選択(2) 第13回 資料の受入 第14回 書庫管理 第15回 テスト</p>	
進め方	講義を中心とします。第1回のガイダンスには必ず出席し、指示に従ってください。	
テキスト	授業開始時に指示します	参考文献 必要に応じて紹介します
評価方法	出席:15% テスト(持込不可):85%	

専門資料論		前期 1 単位	2年
人文科学、社会科学、自然科学・技術各分野の知識構造・特性とそれぞれの分野の資料について		加藤 久枝 (かとう ひさえ)	
ねらい	<p>学術情報の生産・流通・利用のサイクル、学術情報の主たる利用者である研究者コミュニティについて理解するとともに、人文科学、社会科学、自然科学・技術各分野の特徴とそれぞれの分野における知識資源としての専門資料の種類と特性について学ぶ。</p>		
授業計画	<p>【前期】 第1回 専門資料とは何か 第2回 専門資料の構成と種類 第3回 学術コミュニケーションシステム 第4回 学術情報のアクセスと利用 第5回 電子環境下における学術情報 第6回 人文科学分野の情報・資料 第7回 社会科学分野の情報・資料 第8回 自然科学・技術分野の情報・資料 第9回 専門図書館の実例</p>		
進め方	教室での講義を基本とする。		
テキスト	プリントを配布する。	参考文献	三浦逸雄, 野末俊比古編著 『専門資料論』日本図書館協会, 2008 (JLA図書館情報学テキストシリーズ118)
評価方法	出席状況:30% レポート:70%		

資料組織概説		前期集中 2 単位	1年
図書館サービスを生み出すための資料組織			
ねらい	<p>図書館は歴史的には資料の保存のために機能してきました。しかし、次第に利用ということが意識されるようになりました。資料が雑然としていては、不特定多数の利用に耐えられません。資料を整理し、一定の秩序を与えて全体として図書館の蔵書とする仕組みが求められます。この仕組みの基礎を学ぶのがこの授業です。</p>		
授業計画	<p>【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 資料組織の意義 第3回 書誌コントロール 第4回 書誌情報の作成・流通・管理 第5回 コンピュータによる目録作成の実際 第6回 目録 第7回 記述目録 第8回 記述の単位と順序 第9回 記述目録作成の実際(1) 第10回 記述目録作成の実際(2) 第11回 記述目録作成の実際(3) 第12回 主題目録法 第13回 分類法の基礎 第14回 主題目録作成の実際 第15回 テスト</p>		
進め方	<p>講義形式で進めていきます。1)資料組織の必要性、2)基本的な原理の理解に重点を置きますので、理論的な内容が多くなります。テキストを事前に読むなどの努力を求めます。第1回のガイダンスで詳細について説明いたしますので、必ず出席して確認をとってください。</p>		
テキスト	柴田正美. 資料組織概説 (JLA図書館情報学テキストシリーズ11 9). 日本図書館協会, 2008	参考文献	授業時に紹介いたします
評価方法	出席:15% テスト(持ち込み不可):85%		

資料組織演習		通年 2 単位	2年
資料を図書館で使えるようにする技法		田中 岳文 (たなか たけふみ)	
ねらい	資料組織概説の理解を前提に、資料組織における具体的技法の考え方と実際に学びます。前期には主題分析の方法と日本十進分類法 (NDC9) を用いた資料の分類方法を中心にとりあげます。後期には日本目録規則 (NCR1987) にしたがった記入作成の方法、および書誌ユーティリティの実際を中心にとりあげます。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクダクシヨウ: この授業および今学期の狙いなど 第2回 日本十進分類法 (NDC) の構成の確認、主題の分析法 第3回 NDCの構成と使用法: 主題 第4回 NDCの構成と使用法: 形式区分 第5回 NDCの構成と使用法: 地理区分、海洋区分 第6回 NDCの構成と使用法: 言語区分 第7回 NDCの構成と使用法: 言語共通区分 第8回 NDCの構成と使用法: 文学共通区分 第9回 小テスト 第10回 NDCの構成と使用法: 分類規程 第11回 実際の分類 第12回 所在記号の作成 第13回 基本件名標目表 (BSH) の概要 第14回 分類作業総合演習 第15回 期末試験	【後期】 第1回 インTRODクダクシヨウ: 前学期の確認と今学期の狙いなど 第2回 日本目録規則 (NCR) の構成の確認、書誌情報の所在箇所 第3回 NCRの構成と使用法: 記述総則 第4回 NCRの構成と使用法: タイトルおよび責任表示 第5回 NCRの構成と使用法: 版 第6回 NCRの構成と使用法: 出版・頒布等 第7回 NCRの構成と使用法: 形態 第8回 NCRの構成と使用法: シリーズ、標準番号 第9回 小テスト 第10回 NCRの構成と使用法: 集合レベルと構成レベル 第11回 NCRの構成と使用法: 継続資料 (逐次刊行物) 第12回 NCRの構成と使用法: 標目 第13回 MARC、書誌ユーティリティ 第14回 目録作業総合演習 第15回 期末試験	
進め方	原則として、各回のテーマに関しての説明のあと、それにそった演習を行います。評価は定期テストと小テストによります。前期と後期とでは演習内容が大きく異なりますので注意してください。		
テキスト	吉田憲一編、資料組織演習。東京、日本図書館協会、2007、270p。(JLA図書館情報学テキストシリーズ11、10)、ISBN978-4-8204-0624-2。	参考文献	志保田務、高鷲忠美著、資料組織法、第6版、東京、第一法規、2007、316p。ISBN978-4-474-02291-1
評価方法	期末試験 (2回) :60% 小テスト (2回) :40%		

児童サービス論		集中 1 単位	2年
本・子ども・図書館		さくま ゆみこ (さくま ゆみこ)	
ねらい	さまざまな子どもの本があることを知り、すぐれた子どもの本とは何かについて考え、子どもに本を手渡す者の役割を認識する。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション 第2回 子どもの本の多様性 第3回 子どもの本の役割 第4回 図書館の役割 第5回 子どもの本が読者の手に渡るまで 第6回 社会状況と子どもの本 第7回 絵本について 第8回 幼年文学について 第9回 童話について 第10回 YA文学について 第11回 知識や科学の本について 第12回 すぐれた児童書とは 第13回 今、世界の子どもたちは 第14回 まとめ 第15回 試験	【後期】	
進め方	図版や実際の児童書を見せながら講義する		
テキスト	なし	参考文献	『子どもを本好きにする50の方法+おすすめ本300冊』(柏書房)
評価方法	出席点:60% 試験:40%		

資料特論		前期 1 単位	2年
図書館資料としてのマイクロ資料、視聴覚資料、地域資料、政府 刊行物、電子資料について		加藤 久枝 (かとう ひさえ)	
ねらい	近年、図書館では多種多様のメディアを取り扱うようになってきている。この授業では、マイクロ資料、視聴覚資料、 地域資料、政府刊行物、電子資料、ネットワーク情報資源の種類と特性を理解するとともに、これらの資料の選択・収 集、利用、保存管理などについて理解する。		
授業計画	【前期】 第1回 マイクロ資料・視聴覚資料 第2回 地域資料 第3回 政府刊行物（行政資料） 第4回 政府刊行物（立法資料・司法資料） 第5回 電子資料 第6回 ネットワーク情報資源		
進め方	教室での講義を基本とする。		
テキスト	プリントを配布する。	参考文献	適宜紹介する。
評価方法	出席:30% レポート:70%		

図書館特論 I		前期 2 単位	2年
図書館をめぐる今日的な諸問題		石原 眞理 (いしはら まり)	
ねらい	図書館法の改正、図書館現場における非正規職員の急激な増加など、ここ数年図書館をめぐる環境は大きく変化してい ます。また、市民の図書館に対する要求は高度化、多様化し、それに対応するため、法律情報サービス、ビジネス支援 サービスなど新しいサービスが始まっています。この授業では、図書館界の新しい動きについて学びます。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 最近の図書館界の動向 第3回 図書館法の改正 第4回 図書館と著作権 第5回 多様化するサービス 第6回 大学・学校図書館との連携 第7回 委託・指定管理者・PFI・市場化テスト・非正規職員(1) 第8回 委託・指定管理者・PFI・市場化テスト・非正規職員(2) 第9回 図書館とコンピュータ 第10回 図書館の組織と業務 第11回 「専門職員認定制度」と「図書館情報学検定試験」 第12回 「文字・活字文化振興法」など 第13回 図書館員の倫理綱領 第14回 図書館の自由 第15回 図書館とプライバシー		
進め方	講義を中心に行います。		
テキスト	特に定めず、プリントを授業時に配布します。	参考文献	必要に応じて紹介します。
評価方法	出席:30% レポート:70%		